

BLOCK A

- ・ 明治大学 (関東第一代表)
- ・ 中京大学 (東海第二代表)
- ・ 宮崎産業経営大学 (九州第三代表)
- ・ 札幌大学 (北海道代表)

関東の誇りを胸に!

明大・関憲太郎 (4年)

明大、2冠へ死角なし?!

Aブロックは激戦の関東リーグを制した明大を中心に展開するだろう。天皇杯での奮闘も合わせて、既に他チームから一目置かれる存在であることは確か。「良いディフェンスから良いオフェンスへ」をモットーに、堅守で決勝Tへの扉を開きたい。対抗馬には東海の雄・中京大が挙げられる。

BLOCK B

- ・ 大阪学院大学 (関西第一代表)
- ・ 流通経済大学 (関東第五代表)
- ・ 仙台大学 (東北代表)
- ・ 愛媛大学 (中国・四国代表)

夏の歓喜をもう一度!

流経大・鎌田次郎 (4年)

未知数の関西王者 VS 流経

夏の総理大臣杯王者・流経大と関西リーグ覇者・大阪学院大がぶつかるブロックとなった。実力は未知数だが関東に次ぐ激戦区・関西を制した勢いとホームの力を活かせる大阪学院大が有利か。個の力に勝る流経大は、リーグ戦の不調をどこまで修正できているか。この2強に仙台大が絡んでいけると面白い。

BLOCK C

- ・ 早稲田大学 (関東第二代表)
- ・ 桃山学院大学 (関西第三代表)
- ・ 静岡大学 (東海第三代表)
- ・ 東北学院大学 (北海道・東北代表)

古豪復活!

早大・兵藤慎剛 (4年)

黄金世代・早大の独壇場か

兵藤慎剛、鈴木修人ら黄金世代が最高学年を迎える早大が比較的楽なブロックに入ったと言える。昨年は決勝で駒大に惨敗を喫しており、この大会への意気込みは特別だろう。大塚監督が掲げた「retador—挑戦者」の気持ちを胸に、2番手と目される桃学大に手こずらなければ1位突破は確実か。

インカレ2007・展望

BLOCK D

- ・ 法政大学 (関東第三代表)
- ・ 九州産業大学 (九州第二代表)
- ・ 関西学院大学 (関西第四代表)
- ・ 吉備国際大学 (中国代表)

もう「上位」はいらない

法大・本田拓也 (4年)

法大、攻撃サッカーで突破へ

昨年は予選し敗退と、関東の上位にいながら結果を残せなかった法大が決勝T進出を目指す。今年は関東開催のブロックに入るという運にも恵まれた上、攻撃のタレントが揃っている。累積警告で本田拓也を欠く初戦を乗り切れば1位突破の可能性は高い。元日本代表監督の加茂周氏が率いる関西学院大にも注目したい。

BLOCK E

- ・ 静岡産業大学 (東海第一代表)
- ・ **駒澤大学 (関東第四代表)**
- ・ 新潟経営大学 (北信越代表)
- ・ 東京学芸大学 (関東第七代表)

駒澤らしく、駒澤の為に。

駒大・八角剛史 (4年)

激戦区を突破するのは?!

前回王者・駒大と東海覇者・静産大が潰しあう死のブロック。静産大はテクニックを武器に総理大臣杯準優勝も果たしている。試合巧者の東学大、新興勢力の新潟経営大も気の抜けない相手。史上初の4連覇を目指す駒大はこの難関を越えられるのか。駒澤らしいサッカーで今季の初タイトルへ挑む。

BLOCK F

- ・ 福岡大学 (九州第一代表)
- ・ 関西大学 (関西第二代表)
- ・ 中央大学 (関東第六代表)
- ・ 高知大学 (四国代表)

スピードなら負けません

中大・辻尾真二 (4年)

逸材の中で光る福大・永井

総理大臣杯ベスト4・九州王者の福大が最有力。記者会見で乾監督が「(福大OBの日本代表DF)坪井よりも足が速い」と豪語した1年生エース・永井謙佑が全国席卷となるのか注目したい。他にもユニバ代表・吉村修平を擁する関大、同じくユニバ代表・辻尾真二が率いる中大と、個の争いが楽しみなブロックである。